

平成24年度「カリキュラム評価アンケート」結果の 分析と考察

福井大学高等教育推進センター

FD・教育企画部門

カリキュラム評価アンケートワーキンググループ

平成25年3月7日

平成24年度「カリキュラム評価アンケート」結果の分析と考察

松友 一雄

(教育地域科学部)

1 回答率とアンケートの枠組み・実施方法に関して

本年度行ったカリキュラム評価アンケートは、後期履修科目登録に合わせてウェブで実施した。教育地域科学部の回答率は45.5% (321/705人)、工学部は回答率35.4%と同様に低い回答率であった。昨年度試行として実施したアンケートを含めて本年度で2回目の実施となるわけであるが、履修登録の段階でウェブで実施するという形態は効率的であると言えるが、目的やその結果の開示などアンケートそのものの学生への周知が必要であることが指摘できる。

一方で医学部では、6割近い回答率があり、アンケートそのものの周知ができているとともに、肯定的な意見も多く見られることから、今後は教育学部、工学部ともに医学部の取り組みに学ぶ必要があると考えられる。

2 各学部の分析と考察

○教育地域科学部

【各項目に関する分析と考察】

(1) 学部の理念や目標の理解、(2) 学科の教育理念や目標の理解について

1の項目で「理解している」、「だいたい理解している」と解答したのは全体の71%であり同様に2の項目では76%にとどまっている。教育地域科学部では、学部、学科の教育目標をスタンダードの形で明文化し、それに添ったカリキュラムの構築を進めている。また、スタンダードに即した省察と評価に取り組むことで理解の深化を促しているがこうした取り組みの効果が十分に見られない現状がある。

(3) 各学年で履修する科目に関する理解、(7) 必修・選択科目に関する理解

3の項目では、「あまり理解していない」、「理解していない」と解答したのは全体の12%であり、4の項目では11%も解答している。こうした履修順序や履修要件に関する理解は、入学当初のガイダンスだけでは不十分であるとの指摘から、各学年に対応した助言教員などを中心とした履修相談や教務課への相談を勧めるなど多くの関わりを進めているが依然として効果が十分ではない実状があることが明らかになった。一目で見て理解できるようなカリキュラムマップの作成が必要である。

(4) シラバスの使い方、(5) シラバスの活用

シラバスの使い方に関しては、全体の88%が理解していると解答しており、シラバス自体の存在は認知されているようであるが、その活用となると72%まで落ち込み、実際に活用していない

と答えている学生は28%と4人に1人は活用していないことになる。シラバスの活用を促すために、参考書籍や評価や試験内容の詳述など、シラバス自体のあり方を考えていく必要がある。

(6) 卒業要件の理解、(15) 教育実習着手条件の理解

卒業要件の理解に関しては全体の90%が理解していると解答している。これに対して、教育実習の着手条件に関しては57%と大幅に減少している。3年次、4年次と二回にわたって主免許、副免許の教育実習に行くわけであるが、全体の半数が着手条件を理解していないことが明らかになった。これまでの実態として、着手条件の理解が足りないために教育実習に着手できなかった学生というのは実はあまりいない。「みんなと同じ必修の授業をきちんと取っていれば大丈夫」という感覚が強い。それゆえに改めて「着手条件を知っているか」と聞かれると分からないと答える学生が多いのであろう。教育実習に対する理解や心構えなどとともにどういった授業がどのように必要であるか、着手条件になっている授業はなぜ必要なのかといったことへの理解が深まることで教育実習に対する取り組みもより主体的にあると考えられる。この点に関しては学部できちんとした方策を練る必要がある。

(8) 履修登録の方法に関する理解、(9) 欠席や追試に関する理解

履修登録の方法に関しては、97%が理解しており、不安に思っている10人ほどの学生も恐らく何とか登録できるのだと考えられる。これに対して、欠席や追試など授業を受けていくことに対する手続きに関しては理解が浅い。これは実態として、欠席に手続きが必要だと思っている学生も少ないし、教官の方でもそれを求めているからであると言える。しかし、再試や追試の手続きの周知は積極的に行っていくことで単位を落とす学生を減らす効果があるように思う。

(10) オフィスアワーの理解、(11) オフィスアワーの活用

オフィスアワーの理解については、全体の68%が理解しているが、まだまだ周知が十分でない実態がある。教育地域科学部でも大学や授業に適應することが難しかったり、学科や学年で孤立してしまう学生などが増加してきている実状がある。こうした実態に対して、指導教員制度が有効に働くためにもオフィスアワーの活用が望まれる。活用の実態に関しては、わずかに15%しか活用していない実態が浮き彫りになった。こうした活用実態に対して周知徹底の他にも、教官室ではない場所で行うとか、学科で一斉に行うといった実際の運用面での改善を進め、より多くの学生が活用しやすいあり方を模索していく必要がある。

(12) 卒業後の展望や目的、(13) 将来設計に役立つカリキュラム

教育地域科学部なので、教師を目指す学校教育課程の学生、公務員や企業への就職を目指す地域科学課程の学生では、状況は異なっていると考えられるが、30%の学生が展望や目的を見失った状態であることが明らかになった。これは、カリキュラムに対して有用感を感じない学生が24%もいるという実態と合わせて深刻な問題を投げかけている。教師になることをあきらめる学生の

数も年々増加している。どんな仕事につきたいか分からないという学生の数も増えている。就職率日本一ということで就職に関する様々な取り組みを行っていく中で、就業意欲や職業に関する理解も高まっている一方で、大学での授業に対する有用感を向上させる授業の開発を進めていく必要がある。

【自由記述及び全体の考察】

自由記述においては、カリキュラムの構成そのものに対する不満や履修上でのバッティングの問題など実際的な問題が指摘されている。こうしたカリキュラム上の問題点を吸い上げていくアンケートも行われているが、結果としてこういったアンケートにも出てきてしまうことが問題の解決を見ていないことを示しているのかもしれない。しかし一方で、カリキュラムに限らず学生自身が修学上理解しておかなければ支障を来すであろう内容に関して理解が浅い実態が浮き彫りになった。特に本学部では、「教員免許の取得要件」や「教育実習の着手条件」など複雑ではあるが理解の必要なことに関する理解が十分ではないことが明らかになった。これは、実際上の問題もあるが、それよりも個々の授業がどのような意味を持っているのか、教育実習に行くために必要な能力や知識がどのようなもので、それをどのように獲得していくのかという点に関する理解が浅いということを意味している。この点に対する方策は、スタンダードの作成と活用に加え、学科レベルでの様々な研修を授業とは別に積極的に行っていく必要があることを示唆するものである。

【教育地域科学部】

アンケート実施期間: 2012/09/19(水) 00:00~2012/10/31(水) 23:59

対象人数: 705人 回答人数: 321人 回答率: 45.5%

(1) 学部の理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	40人
だいたい理解している	189人
あまり理解していない	85人
理解していない	7人



(2) 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

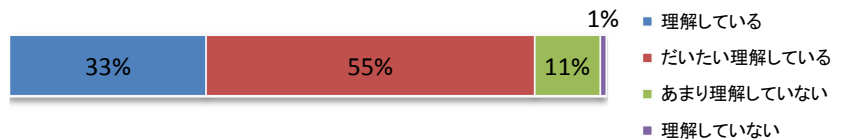
理解している	47人
だいたい理解している	193人
あまり理解していない	73人
理解していない	6人



(3) 4年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

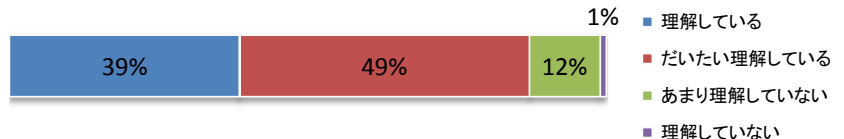
理解している	106人
だいたい理解している	175人
あまり理解していない	35人
理解していない	4人



(4) シラバスの使い方を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

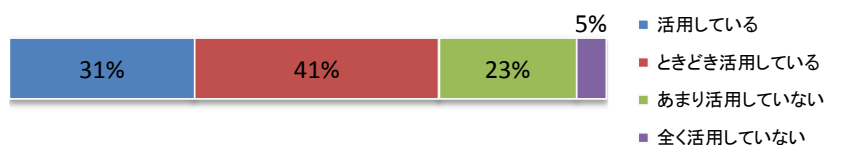
理解している	124人
だいたい理解している	156人
あまり理解していない	38人
理解していない	3人



(5) シラバスを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

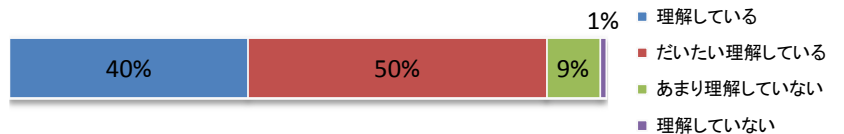
活用している	100人
ときどき活用している	130人
あまり活用していない	73人
全く活用していない	16人



(6) 卒業要件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	127人
だいたい理解している	159人
あまり理解していない	28人
理解していない	4人



(7) 必修科目、選択必修科目、選択科目の区分を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	129人
だいたい理解している	156人
あまり理解していない	34人
理解していない	1人



- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(8) 履修登録の方法を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	189人
だいたい理解している	118人
あまり理解していない	10人
理解していない	0人



- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(9) 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	54人
だいたい理解している	109人
あまり理解していない	135人
理解していない	23人



- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(10) オフィスアワーの存在を知っている。

・知っている ・知らない

知っている	214人
知らない	103人



- 知っている
- 知らない

(11) オフィスアワーを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

活用している	15人
ときどき活用している	32人
あまり活用していない	84人
全く活用していない	190人

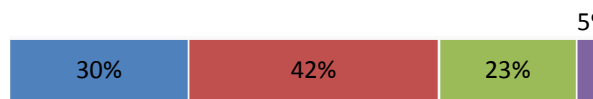


- 活用している
- ときどき活用している
- あまり活用していない
- 全く活用していない

(12) 卒業後の具体的な将来展望・目的意識を持っている。

・持っている ・だいたい持っている ・あまり持っていない ・全く持っていない

持っている	95人
だいたい持っている	136人
あまり持っていない	74人
全く持っていない	16人

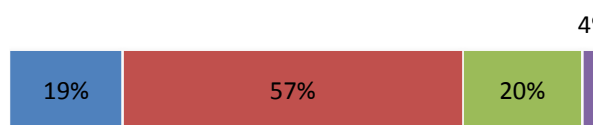


- 持っている
- だいたい持っている
- あまり持っていない
- 全く持っていない

(13) 学科(課程)のカリキュラムが自身の将来設計に役立っている。

・役立っている ・まあ役立っている ・あまり役立っていない ・全く役立っていない

役立っている	60人
まあ役立っている	182人
あまり役立っていない	63人
全く役立っていない	14人



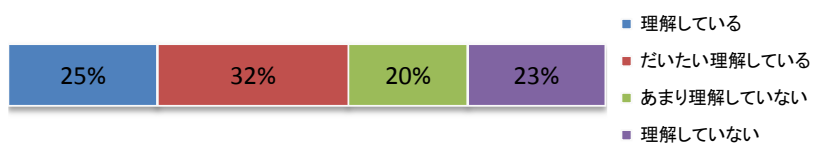
- 役立っている
- まあ役立っている
- あまり役立っていない
- 全く役立っていない

(14) カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください。【自由記述:300字以内】

(15) 教育実習の着手条件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	77人
だいたい理解している	99人
あまり理解していない	60人
理解していない	71人



アンケート実施期間: 2012/09/19(水) 00:00~2012/10/31(水) 23:59

回答者には以下のイメージで表示されます。

2012カリキュラム評価アンケート(教育地域科学部用)

この調査は、みなさんが授業等を受講するにあたって理解していること、考えていること等について調査することを目的としています。あなたが理解、考えている程度に応じてチェックして下さい。

(全ての項目にチェックした後、画面右下の「回答」ボタンをクリックしてください。)

アンケート実施主体:福井大学高等教育推進センター

1. 学部の理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

2. 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

3. 4年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

4. シラバスの使い方を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

5. シラバスを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

6. 卒業要件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

7. 必修科目, 選択必修科目, 選択科目の区分を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

8. 履修登録の方法を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

9. 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

10. オフィスアワーの存在を知っている。

・知っている ・知らない

11. オフィスアワーを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

12. 卒業後の具体的な将来展望・目的意識を持っている。

・持っている ・だいたい持っている ・あまり持っていない ・全く持っていない

13. 学科(課程)のカリキュラムが自身の将来設計に役立っている。

・役立っている ・まあ役立っている ・あまり役立っていない ・全く役立っていない

14. カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください。

15. 教育実習の着手条件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

ご回答有り難うございました。このアンケートを通して、大学のカリキュラムに目を向ける機会となり、深い理解を持って勉学に取り組んでもらえることを期待しています。

今、「単位の実質化」ということが大学に強く求められています。例えば、「単位が取れた」という時の「単位」とは、大学設置基準では「45時間」とされています。普通皆さんが受ける授業の多くは「2単位」ですから「90時間」となります。

これが、一つの授業で単位を得るために必要な時間なのです。実際に大学で行う授業は「90分×15回＝30時間」ですから、残りの「60時間」は、皆さん自身の予習・復習で補わなければならないのです。

今、大学ではみなさんが確実に効果的に予習や復習を進められるようにサポートし、より確かな成果を得られるようにカリキュラムの改善が進められています。

福井大学高等教育推進センター

事務担当:学務部教務課

小林 誠巳(0776-27-8400)内線2102

e-mail gkyomu-am@ad.u-fukui.ac.jp

回答

○医学部

長谷川 智子
(医 学 部)

<概要>

- 看護学科では、アンケートの回収率は 6 割近くあり、他の学部や学科と比べて肯定的な意見の割合が多い傾向がみられた。
- 医学科・看護学科ともに学部や学科の理念や目標、および授業の欠席や再試・追試の手続きについて理解しているものは少なかったが、履修科目や卒業要件、および必修・選択等の科目の区分についてはおおむね理解していた。
- シラバスについては、看護学科では理解し活用もされていたが、医学科では理解や活用の割合が看護学科より低かった。また、履修登録方法については概ね理解していた。
- オフィスアワーについては両学科ともに、その存在は認知していても、実際の活用には結びついていなかった。
- カリキュラム自体が卒後の方向性や将来設計に直接的に役立つと認識しづらい傾向がみられた。
- 看護学科では自由意見として、シラバスの内容（必修と選択必修）や学年ごとの時間割についての意見がみられた。

<感想>

- 医学科・看護学科の割合が比較的低いオフィスアワーの活用や欠席時の手続き等の項目は、周知させていく必要はあるが、他の学部や学科の割合も低く、看護学科の割合は他の学部や学科に比べると高かった。
- 理念や目的等はやや低い結果となったが、必要な履修科目や区分、履修登録についても理解しており、シラバスが十分活用されている状況がうかがえた。また、全体的に肯定的な意見が多く、学生が主体的に講義に取り組んでいる姿勢が見受けられた。看護学科では入学時や講義開始時のオリエンテーションおよび 1 年次の看護学入門による取り組みが反映しているのではないかと。
- カリキュラム自体が卒後の方向性や将来設計に役立つと認識しづらい理由として、看護師、保健師、助産師を選択していくという特殊な面が影響しているのではないかと。

【医学科】

(1) 学部の理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	1人
だいたい理解している	50人
あまり理解していない	25人
理解していない	1人



(2) 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	2人
だいたい理解している	53人
あまり理解していない	20人
理解していない	1人



(3) 6年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	8人
だいたい理解している	59人
あまり理解していない	9人
理解していない	1人



(4) シラバスの使い方を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

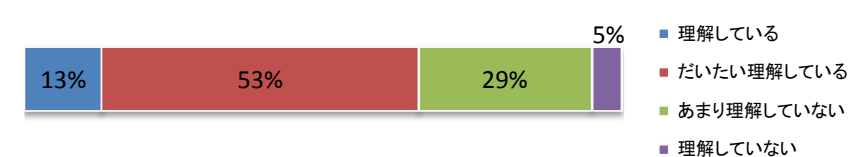
理解している	12人
だいたい理解している	51人
あまり理解していない	13人
理解していない	2人



(5) シラバスを活用している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

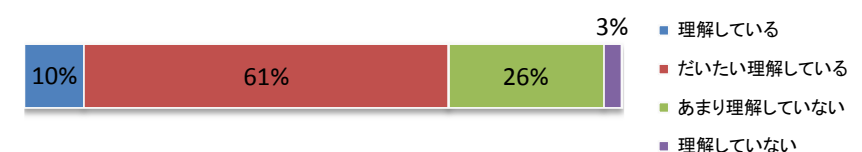
理解している	10人
だいたい理解している	41人
あまり理解していない	23人
理解していない	4人



(6) 卒業要件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

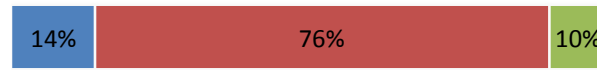
理解している	8人
だいたい理解している	48人
あまり理解していない	20人
理解していない	2人



(7) 必修科目、選択必修科目、選択科目の区分を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	11人
だいたい理解している	59人
あまり理解していない	8人
理解していない	0人

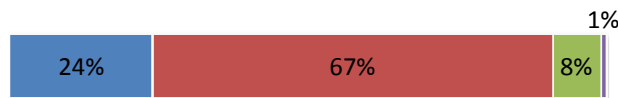


- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない

(8) 履修登録の方法を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	19人
だいたい理解している	52人
あまり理解していない	6人
理解していない	1人



- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(9) 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	4人
だいたい理解している	45人
あまり理解していない	21人
理解していない	8人



- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(10) オフィスアワーの存在を知っている。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	11人
だいたい理解している	35人
あまり理解していない	21人
理解していない	11人

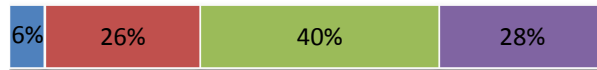


- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(11) オフィスアワーを活用している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	5人
だいたい理解している	20人
あまり理解していない	31人
理解していない	22人



- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(12) 授業を受けて将来の方向性がみえるようになった。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	4人
だいたい理解している	45人
あまり理解していない	26人
理解していない	1人



- 理解している
- だいたい理解している
- あまり理解していない
- 理解していない

(13) カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください。

【看護学科】

アンケート実施期間: 2012/09/19(水) 00:00~2012/10/31(水) 23:59

対象人数: 253人 回答人数: 149人 回答率: 58.9%

(1) 学部の理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

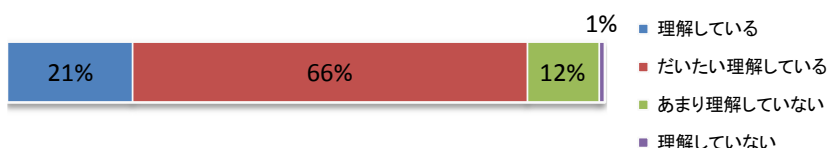
理解している	29人
だいたい理解している	97人
あまり理解していない	20人
理解していない	3人



(2) 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

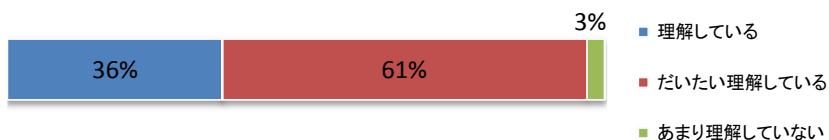
理解している	32人
だいたい理解している	98人
あまり理解していない	18人
理解していない	1人



(3) 4年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

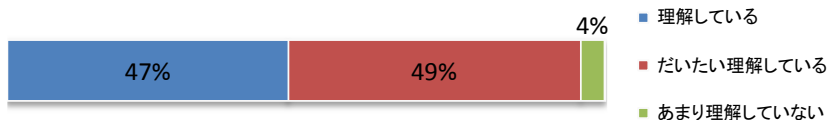
理解している	53人
だいたい理解している	89人
あまり理解していない	5人
理解していない	0人



(4) シラバスの使い方を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

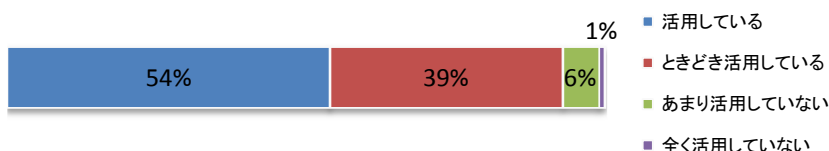
理解している	70人
だいたい理解している	73人
あまり理解していない	6人
理解していない	0人



(5) シラバスを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

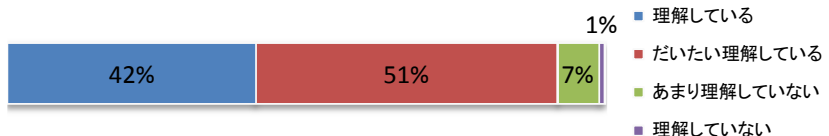
活用している	79人
ときどき活用している	57人
あまり活用していない	9人
全く活用していない	1人



(6) 卒業要件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

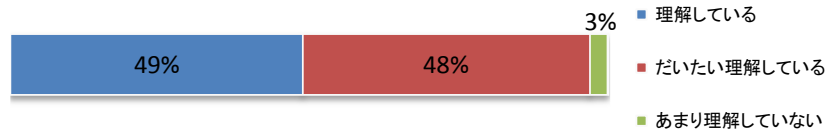
理解している	60人
だいたい理解している	73人
あまり理解していない	10人
理解していない	1人



(7) 必修科目、選択必修科目、選択科目の区分を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

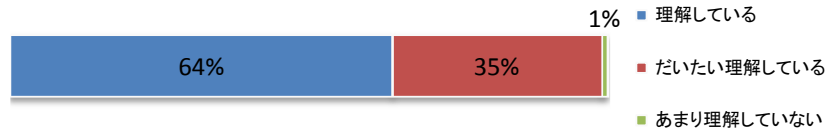
理解している	71人
だいたい理解している	70人
あまり理解していない	5人
理解していない	0人



(8) 履修登録の方法を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	94人
だいたい理解している	51人
あまり理解していない	1人
理解していない	0人



(9) 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	39人
だいたい理解している	71人
あまり理解していない	34人
理解していない	5人



(10) オフィスアワーの存在を知っている。

・知っている ・知らない

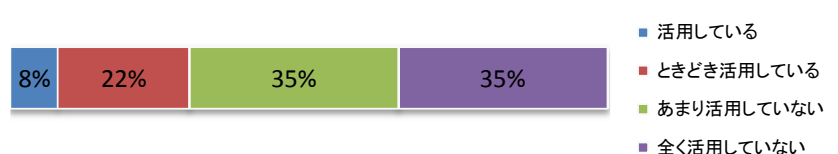
知っている	99人
知らない	50人



(11) オフィスアワーを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

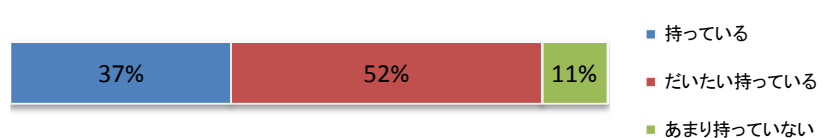
活用している	12人
ときどき活用している	32人
あまり活用していない	51人
全く活用していない	52人



(12) 卒業後の具体的な将来展望・目的意識を持っている。

・持っている ・だいたい持っている ・あまり持っていない ・全く持っていない

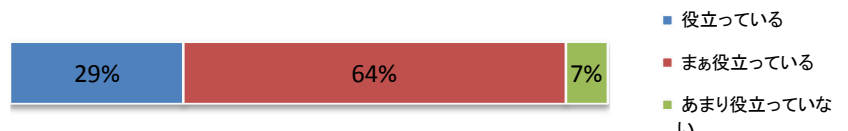
持っている	54人
だいたい持っている	75人
あまり持っていない	16人
全く持っていない	0人



(13) 学科(課程)のカリキュラムが自身の将来設計に役立っている。

・役立っている ・まあ役立っている ・あまり役立っていない ・全く役立っていない

役立っている	43人
まあ役立っている	96人
あまり役立っていない	10人
全く役立っていない	0人



(14) カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください。【自由記述:300字以内】

カリキュラム評価アンケート(3年次生用)

(平成 24年 10 月配布)

学籍番号 _____

氏 名 _____

医学部教育開発推進センターでは、随時点検・評価を通してカリキュラムの修正・改善を加え、皆さんにとってより良い医学教育カリキュラムになるよう努めています。3年次前期までで、いわゆる基礎医学教育カリキュラムが一応終了し、後期から臨床医学を中心とした教育カリキュラムが始まります。

そこで、皆さんが履修してきた基礎医学教育カリキュラム全体の企画・実施に対するご意見を聴取したいと思いますので、以下の項目に教えてください。このアンケート結果は統計処理され、皆さんの個人名は明らかにされることはありませんので、率直なご意見をお寄せ下さい。なお、アンケート結果はカリキュラムの改善のための基礎資料以外の目的には使用しません。

選択肢のある項目では該当する答えの番号を右欄の()に記入してください。

まず、あなた自身についてお尋ねします。

(1)あなたの履修状況についてお聞きします

①カリキュラム全体を自らすすんで履修しましたか？

1. 非常に積極的 2. 積極的 3. どちらともいえない 4. 消極的 5. 非常に消極的

()

②カリキュラム全体の学習内容を十分に消化できましたか？

1. 十分できた 2. できた 3. どちらともいえない 4. できなかった 5. 全くできなかった

()

③学習内容を消化・理解するための学習時間は十分に使いましたか？

1. 非常に十分 2. 十分 3. どちらともいえない 4. 十分でない 5. 全く十分でない

()

(2)上の三つの問いで4または5と答えた方は、①なぜ消極的だったのか？②学習内容のどのような点が消化できなかったのか？③なぜ十分使えなかったのか？それぞれに具体的にお答えください。

【①なぜ消極的だったのか？】

【②学習内容のどのような点が消化できなかったのか？】

【③なぜ十分使えなかったのか？】

(3)あなたのこの期間における履修状況を自己評価してください

1. 非常に評価できる 2. 評価できる 3. どちらともいえない 4. 改善の余地がある
5. 大いに改善の余地がある

()

次に、3年次前期のカリキュラムについてお尋ねします。

(4)3年次前期のカリキュラム全体の構成はいかがでしたか？

1. 非常に良い 2. 良い 3. 普通 4. あまり良くない 5. 良くない ()

(5)4または5と答えた方はどの点が良くなかったか具体的にお書き下さい

(6)全体として、科目数はいかがでしたか？

1. 非常に多すぎる 2. 多すぎる 3. 普通 4. 少なすぎる 5. 非常に少なすぎる ()

(7)履修した科目の中で、時間数(コマ数)が多すぎたもの、少なすぎたものがあれば科目名をお書き下さい。

(複数の科目名を記入可)

【多すぎたもの】

【少なすぎたもの】

(8)全体として、講義と実習のバランスはいかがでしたか？

1. 非常に良い 2. 良い 3. どちらともいえない 4. あまり良くない 5. 良くない ()

(9)4または5と答えた方はどのような点が良くなかったのか具体的にお答えください

(10)試験(試験の時期や再試の実施状況など)は適切に行われていましたか？

1. 非常に適切 2. 適切 3. どちらともいえない 4. あまり適切でない 5. 適切でない ()

(11)4または5と答えた方はどのように試験を実施すればよいと思いますか？

(12)3年次前期のカリキュラムと1・2年次生で履修したカリキュラムとの連携は適切でしたか？

1. 非常に適切 2. 適切 3. どちらともいえない 4. あまり適切でない 5. 適切でない ()

(13)4または5と答えた方は(1・2年次のカリキュラムの編成など)どのように改善したらよいと思いますか？

(14)アドバンスコースを含め前期で履修して特に興味深い、または学習意欲が増した科目があれば科目名をお答え下さい

次に、アドバンスコースについてお尋ねします。

(15)アドバンスコースは何科目履修しましたか(履修届けを出した科目数)? ()科目

(16)履修したアドバンスコースのうち、何科目の単位を取得しましたか(予定を含む?) ()科目

(17)アドバンスコースの開講科目数・内容は適切でしたか?

1. 非常に適切 2. 適切 3. 普通、 4. あまり適切でない 5. 適切でない ()

(18)4または5と答えた方はどの点が適切でなかったか具体的にお書き下さい

(19)アドバンスコースを履修して学習意欲、医学や医療に対する意欲が刺激されましたか?

1. 非常にされた 2. された 3. どちらともいえない 4. されない 5. まったくされない ()

(20)あなたはアドバンスコースを自らすすんで履修しましたか?

1. 非常に積極的 2. 積極的 3. どちらともいえない 4. 消極的 5. 非常に消極的 ()

(21)上の二つの設問で4または5と答えた方はその理由を具体的にお書き下さい。

(22)アドバンスコースとして開講してほしい学習内容があればその内容をお書き下さい。

(23)他の必修科目との連携、内容など、アドバンスコースに対する要望事項/改善点をお書き下さい。

次に、研究室配属についてお尋ねします。

(24)研究室配属について、3週間の配属期間は適切でしたか?

1. 非常に長い 2. 長い 3. どちらともいえない 4. 短い 5. 非常に短い ()

(25)研究室配属について、開講の時期は適切でしたか?

1. 非常に適切 2. 適切 3. どちらともいえない 4. 適切でない 5. 非常に適切でない ()

(26)上の二つの設問で4または5と答えた方はどのような配属期間、またはいつの開講時期が適切か具体的にお答え下さい

(27)研究室配属では、教員に熱意が感じられましたか?

1. 非常に感じられた 2. 感じられた 3. どちらともいえない 4. 感じられない 5. まったく感じられない ()

(28)研究室配属によって研究・学習内容に対する意欲が刺激されましたか？

1. 非常にされた 2. された 3. どちらともいえない 4. されない 5. まったくされない ()

(29)あなたは研究室配属を自らすすんで取り組みましたか？

1. 非常に積極的 2. 積極的 3. どちらともいえない 4. 消極的 5. 非常に消極的 ()

(30)上の設問で4または5と答えた方はその理由を具体的にお書き下さい。

(31)研究室配属に対する要望事項/改善点などがありましたら自由にお書き下さい

次に、2年次・3年次に履修した基礎医学教育カリキュラム全体についてお尋ねします。

(32)2年次・3年次前期における基礎医学教育カリキュラム全体(科目構成、開講時期など)は基礎医学を学ぶ上で適切なものでしたか？

1. 非常に適切 2. 適切 3. どちらともいえない 4. 適切でない 5. 非常に適切でない ()

(33)4または5を答えた方はなぜ適切でないのか具体的な理由をお答えください。さらに、それをふまえた改善点があればお答え下さい。

(34)現時点で振り返ってみて1・2年次のカリキュラムで履修したかった、あるいは追加してほしい科目・学習内容がありましたら、具体的にお答え下さい。また時間数(コマ数)が少なすぎた科目がありましたら、お答え下さい。

(35)これまでのカリキュラムを履修して医学・医療に対する興味または3年次後期以降の臨床医学教育カリキュラムに対する履修意欲が増しましたか？

1. 非常に増した 2. 増した 3. どちらともいえない 4. 減った 5. 非常に減った ()

(36)4または5を答えた方はなぜ減ったのか具体的な理由をお答えください

(37)臨床医学教育カリキュラムを4年次から開講する大学もありますが、本学は3年次後期から開講します。このことについてどのように考えますか？

①本学の開講の時期は、

1. 早すぎる 2. 早い 3. 適当 4. 遅い 5. 遅すぎる

()

②適当でない場合は適していると思う時期をお答え下さい

本学医学教育の達成目標についてお尋ねします。

医学部では、

- ①幅広い医学知識を持ち、質の高い臨床能力を身に付け
- ②コミュニケーション能力に優れ、高い倫理観をもって患者中心の医療を実践でき
- ③日々進歩する医学知識・医療技術を生涯にわたり学ぶ習慣を身につけ、根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成し、
- ④世界をリードする生命科学研究者や医学教育者となりうる人や、
- ⑤個人と地域・国際社会の健康増進と疾病の予防・根絶に寄与し、国際的な視野でまたは地域に根ざした活動ができる人を育成することを教育目標としています。

(38)そこで、これまでのカリキュラムの履修状況から考えて、今後のカリキュラムを適切に履修すれば以下の事項が卒業時点で修得できると思いますか？

38-1. 医学知識

1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. 普通 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

()

38-2. 臨床能力

1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. 普通 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

()

38-3. コミュニケーション能力

1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. 普通 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

()

38-4. 高い倫理観

1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. 普通 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

()

38-5. 学ぶ習慣

1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. 普通 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

()

38-6. 根拠に立脚した実践的医療能力

1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. 普通 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

()

(39)各項目で「あまりそう思わない」および「そう思わない」と答えた方は、どのような理由で修得できなかったのか具体的にお答え下さい。また、それをふまえた改善点があればお教え下さい。

(40)基礎医学教育カリキュラムに対する要望事項など自由な感想をお書き下さい

【高等教育推進センターのFD・教育企画部門で全学共通の「カリキュラムに関するアンケート」を実施することとし、決定された質問事項】

(41) 学部の理念や目標を理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(42) 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(43) 6年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(44) シラバスの使い方を理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(44) シラバスを活用している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(45) 卒業要件を理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(46) 必修科目, 選択必修科目, 選択科目の区分を理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(47) 履修登録の方法を理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(48) 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(49) オフィスアワーの存在を知っている。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(50) オフィスアワーを活用している。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(51) 授業を受けて将来の方向性がみえるようになった。

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(52) カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください

1. 理解している 2. だいたい理解している 3. あまり理解していない 4. 理解していない ()

(協力ありがとうございました。記入後、アンケート回収箱に投函してください)

アンケート実施期間: 2012/09/19(水) 00:00~2012/10/31(水) 23:59

回答者には以下のイメージで表示されます。

2012カリキュラム評価アンケート(看護学科用)

この調査は、みなさんが授業等を受講するにあたって理解していること、考えていること等について調査することを目的としています。あなたが理解、考えている程度に応じてチェックして下さい。

(全ての項目にチェックした後、画面右下の「回答」ボタンをクリックしてください。)

アンケート実施主体: 福井大学高等教育推進センター

1. 学部の理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

2. 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

3. 4年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

4. シラバスの使い方を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

5. シラバスを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

6. 卒業要件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

7. 必修科目, 選択必修科目, 選択科目の区分を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

8. 履修登録の方法を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

9. 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

10. オフィスアワーの存在を知っている。

・知っている ・知らない

11. オフィスアワーを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

12. 卒業後の具体的な将来展望・目的意識を持っている。

・持っている ・だいたい持っている ・あまり持っていない ・全く持っていない

13. 学科(課程)のカリキュラムが自身の将来設計に役立っている。

・役立っている ・まあ役立っている ・あまり役立っていない ・全く役立っていない

14. カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください。【自由記述:300字以内】

ご回答有り難うございました。このアンケートを通して、大学のカリキュラムに目を向ける機会となり、深い理解を持って勉学に取り組んでもらえることを期待しています。

今、「単位の実質化」ということが大学に強く求められています。例えば、「単位が取れた」という時の「単位」とは、大学設置基準では「45時間」とされています。普通皆さんが受ける授業の多くは「2単位」ですから「90時間」となります。

これが、一つの授業で単位を得るために必要な時間なのです。実際に大学で行う授業は「90分×15回＝30時間」ですから、残りの「60時間」は、皆さん自身の予習・復習で補わなければならないのです。

今、大学ではみなさんが確実に効果的に予習や復習を進められるようにサポートし、より確かな成果を得られるようにカリキュラムの改善が進められています。

福井大学高等教育推進センター

事務担当: 松岡 教務第二係 廣田 龍彰(0776-61-8214)内線2142 e-mail gmtigaku-2k@ad.u-fukui.ac.jp

文京 教務課 小林 誠巳(0776-27-8400)内線2102 e-mail gkyomu-am@ad.u-fukui.ac.jp

回答

○工学部

飛田 英孝

(工学研究科)

(1), (2) 学部の理念・目標を理解している：69%, 学科の理念・目標を理解している：71%

7割近い学生は、おおよそ理解しており、まずまずの結果だとも言えるが、「グローバル化時代の教育システムの明示」という点からは、80%程度以上の理解度を当面の目標として、学生への理解を一層高めるべく努力が必要だと考える。各学期始めに学生への周知を図る、あるいは、学生が頻繁に目にする場所に、ポスターを掲示するという方法も考えられる。

(3) 各学年で履修する科目を理解している：84%

8割以上の学生が理解しているが、本来、全員が理解しているべき項目である。ただし、アンケートの聞き方が抽象的であるため具体的に考えなかった学生がいるかもしれない。例えば、「あなたが本年度履修しなければならない科目を把握していますか」と問えば回答が変わるであろう。いずれにしろ、分かりやすいカリキュラムマップを明示するなどして、カリキュラムの構成を学生に理解させる必要があるだろう。

(4), (5) シラバスの使い方を理解している：86%, シラバスを活用している：74%

個人的な感想としては、予想以上に活用されているということ。このようなデータは是非教員側にPRし、より魅力的なシラバスづくりに生かすべきであろう。シラバスの質の向上という点からは、教員間でシラバスを読み合うといった努力も必要かも知れない。

(6), (7) 卒業要件を理解している：87%, 選択・必修等の科目区分を理解している：91%

当然とも言えるが、約9割の学生が理解している。助言教員との懇談等を通じて、理解していない学生を発見する努力は必要かもしれない。

(8) 履修登録の方法を理解している：98%

十分高い値だと言えるが、今回のアンケートに回答していない学生にも確認する必要があるかもしれない。今後とも、履修登録方法について質問のある学生が教務課に聞きやすい雰囲気を保ち続ける必要はあろう。

(9) 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している：51%

入学時に事務では欠席届を出すよう指導しているそうであるが、そのことを知らない教員が大多数であると思われる。公欠を除き欠席届が有効に利用されている訳ではないので、欠席届のあり方についての議論が必要であろう。

(10), (11) オフィスアワーの存在を知っている：75%, オフィスアワーを活用している：20%

教員の立場からは、なぜ75%もの学生がオフィスアワーを知っていながら、オフィスアワー以外の時間帯に質問に来るのか、むしろ疑問である。学生の立場から言うと、教員ごとにばらばらに設定されているオフィスアワーをある程度、統一して欲しいと考えているのかもしれない。また、オフィスアワーとは言っても会議・出張等で不在になることも多く、オフィスアワーの実質化に向けた検討も必要であろう。一度、教員・学生の両者に対し、オフィスアワーについての要望調査を実施してみる必要があるかもしれない。

(12) 卒業後の具体的な将来展望を持っている：56%

昨今の芳しくない雇用環境も影響していると考えられるが、将来展望を持ってない学生が4割以上見られる。現在、工学部では「みらい協育プログラム」の一環として、年2回の助言教員との面談時に学生と卒業後の希望について話し合うことを実施しているが、今回の結果を教員側に十分周知し、学生への働きかけを一層強化する必要があると考える。

(13) 学科カリキュラムが自身の将来設計に役立っている：66%

3分の1の学生が「役立っている」という実感を持っていない。前項目とも関連するが、学生の将来設計について教職員とのコミュニケーションを強化する必要があるかもしれない。学科カリキュラムについて、学生に説明する機会を増やすことも一つの対策ではなかろうか。また、学生と学科とのミスマッチも一因かもしれないので、さらなる調査も検討すべきであろう。

(14) カリキュラム全般に関する意見・要望（自由記述）

何らかの意見を記載したのは14名（回答者の内、意見・要望があった割合は14/896=1.6%）。以下、内容別に検討する。なお、括弧内の数字は意見の件数である。（2件の意見を記載した学生が1名いた他は、一人1件の意見。）

学科カリキュラムについて（6件）

コンセプトが分からない（1）、具体性がない（1）といった意見、特定の分野の科目を増やして欲しい（2）、あるいは、授業内容が偏っている（1）、専門的な授業をもっと早くから（1）という意見もあった。

選択科目を増やして欲しい（3件）

必修が多すぎる、あるいは選択科目を増やした方が意欲的になるといった選択科目の増加を望む要望が3件あった。

追試等の救済措置が欲しい（2件）

必修の授業にはなるべく救済措置が欲しい（1）、不可になった科目はどの科目も追試して欲しいし、追試がある科目と無い科目があるのはおかしい（1）という意見があった。

その他（4件）

情報処理演習についてもプレースメントテストのようなもので能力別にしてはという提案（1）、大学院への進学を増やすためにとった研究室配属方法に対する不満（1）、さらには各種アンケート

ートの結果が反映されていない(1)という意見があった。一方、「説明が詳しく書いてあるシラバスがあり分かりやすくなっている」(1)という好意的な意見もあった。

不満については、基本的には学生と教職員との間の意思疎通の問題であるように感じられる。教職員から学生への(一方的な通達ではなく)継続的な問いかけによるコミュニケーションの活性化が必要なのではなかろうか。

(15) 卒論着手要件を理解している：86%

十分高い数値だとも思えるが、14%の学生が理解していないことは問題とも言える。90%以上の学生が理解するよう助言教員との面談の機会等を通じて、入学時以外にも折に触れて確認する必要があるかもしれない。

(16) 履修単位数に上限があることを知っている：60%

キャップ制については、学生に対してのみならず、教員に対しても分かりやすい説明が必要であろう。

(17), (18) 学科の学習・教育目標を理解している：73%, カリキュラムと学習・教育目標との対応を理解している：71%

JABEE等の国際基準を考えるとまだまだ低すぎると思われる。さらなる周知への努力が必要であろう。一方では、学習・教育目標とDP, CPの関係、さらには工学部の理念・目的との関係など、必ずしも整合性が確保できていない点もあるので、分かりやすいシステムを開示していく努力も必要であろう。

(19) 上記16と17について確認したことがある：39%

この質問項目は、恐らく「上記17, 18」の誤りである。低いパーセンテージになったのは、キャップ制を確認していないことに起因するのではないかと推測される。これは、次回は変更すべき質問項目である。

(20) 学習・教育目標に照らして授業内容は適切である：92%

17, 18の結果を参照すると、学科の学習・教育目標を十分理解していない学生も含め、「適切である」と答えていることは、学科教育への信頼の表れであろう。

(21) 適切でなかった理由(自由記述)

何らかの意見を記載したのは9名(回答者の内、記載したのは9/896=1%, 適切ではなかったと答えた68名を母数とすると9/68=13.2%)。括弧内の数字は意見の件数である。

判断できない(3件)

学習・教育目標を知らない（２）、判断材料を持っていない（１）

授業科目が適切でない（３件）

XX分野は不要（１）、内容が偏っている（１）、就職に役立たなかった（１）

試験内容の適切性（２件）

テストの難度（１）、講義で習っていない内容が出題された（１）

教員間の連携不足（１件）

教員間の連携が取れておらず一貫性に欠けるといった意見があった。

学習・教育目標やカリキュラム、さらには試験の内容についてのコミュニケーション不足が若干見られる。コミュニケーション不足は、教員間にも見られるようで、これはFDにおける課題であろう。

(22) 成績の評価法は適切であった：92%

まずまず良好であると考えられる。また、次項目にある「適切でなかった理由」を見ると少なくとも３名の学生が「自分の成績が良かったか？」という設問と勘違いしていると思われる。

(23) 適切でなかった理由（自由記述）

記載のあった17件のうち、3件は（前述の通り）質問内容を取り違えているので、有効回答率は $14/896=1.6\%$ 、「適切でない」と答えた67名を母数にとると $14/67=20\%$ 、勘違いの3名を母数から除くと $14/64=22\%$ であった。なお、項目21に同じという回答があったが、どの内容か判別できないので、下記には記載していない。

試験結果の開示がない（８件）

どこが駄目だったか教えて欲しい（１）、優良可だけでなく点数や学科内での順位も知りたい（１）、テスト結果（点数）が開示されていない（３）、納得のいかない評価（３）

不公平感がある（３件）

不公平さがあった気がする（１）、カンニングの噂を聞いた（１）、評価の厳しい科目と甘い科目の差が激しい（１）

その他（２件）

出題問題に不備があった（１）、他学科の教員で対応の悪い人がいる（１）

全般に、「先生」に頼りすぎている未熟な学生が多いように感じる。学生を成熟へと導く教育とコミュニケーションが必要では無かろうか。もちろん、教員側にも「厳格な評価」という努力が必要なのは言うまでもない。

【工学部】

アンケート実施期間: 2012/09/19(水) 00:00~2012/10/31(水) 23:59

対象人数: 2532人 回答人数: 896人 回答率: 35.4%

(1) 学部の理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

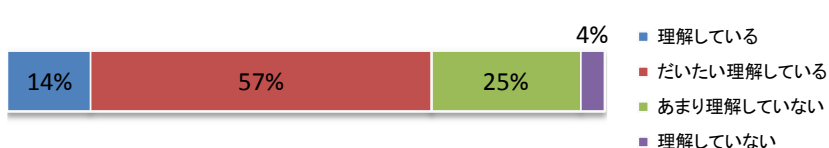
理解している	128人
だいたい理解している	496人
あまり理解していない	241人
理解していない	31人



(2) 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

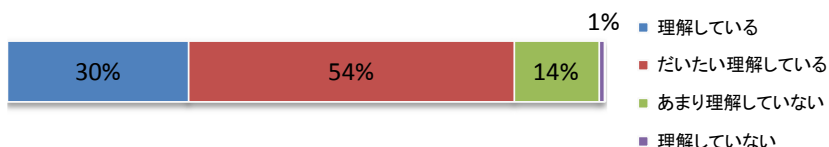
理解している	125人
だいたい理解している	507人
あまり理解していない	226人
理解していない	35人



(3) 4年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

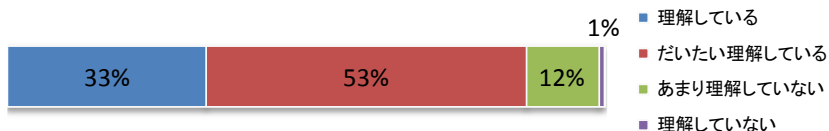
理解している	271人
だいたい理解している	487人
あまり理解していない	125人
理解していない	12人



(4) シラバスの使い方を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

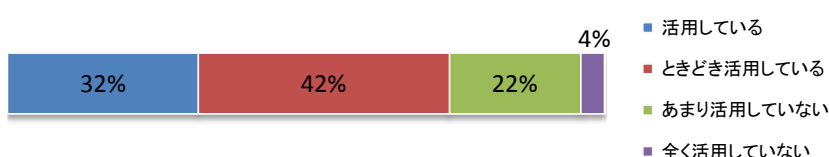
理解している	297人
だいたい理解している	475人
あまり理解していない	105人
理解していない	13人



(5) シラバスを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

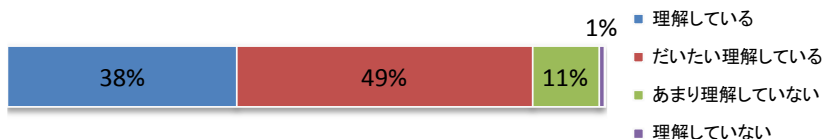
活用している	289人
ときどき活用している	372人
あまり活用していない	196人
全く活用していない	37人



(6) 卒業要件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

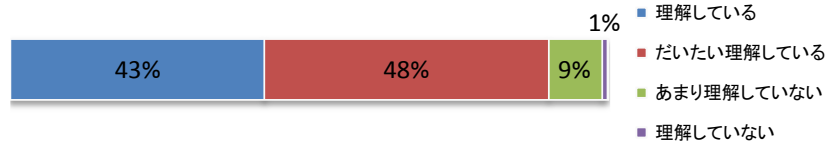
理解している	341人
だいたい理解している	441人
あまり理解していない	98人
理解していない	13人



(7) 必修科目、選択必修科目、選択科目の区分を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

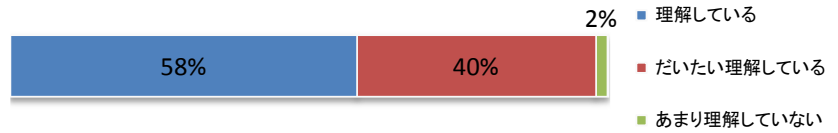
理解している	381人
だいたい理解している	424人
あまり理解していない	76人
理解していない	9人



(8) 履修登録の方法を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

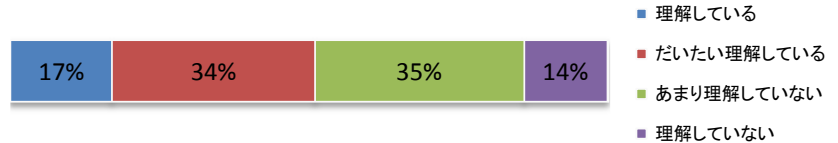
理解している	514人
だいたい理解している	354人
あまり理解していない	20人
理解していない	3人



(9) 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	154人
だいたい理解している	301人
あまり理解していない	312人
理解していない	124人



(10) オフィスアワーの存在を知っている。

・知っている ・知らない

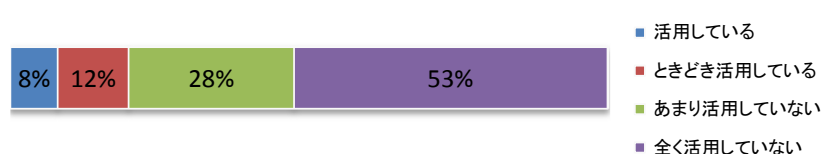
知っている	672人
知らない	221人



(11) オフィスアワーを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

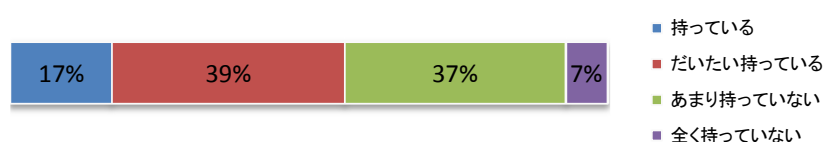
活用している	71人
ときどき活用している	103人
あまり活用していない	246人
全く活用していない	469人



(12) 卒業後の具体的な将来展望・目的意識を持っている。

・持っている ・だいたい持っている ・あまり持っていない ・全く持っていない

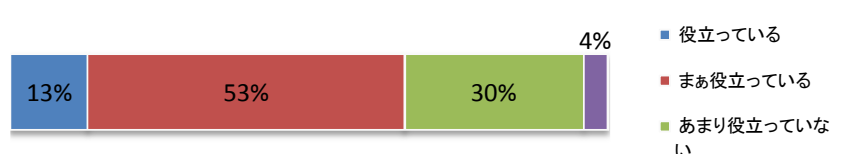
持っている	149人
だいたい持っている	341人
あまり持っていない	328人
全く持っていない	64人



(13) 学科(課程)のカリキュラムが自身の将来設計に役立っている。

・役立っている ・まあ役立っている ・あまり役立っていない ・全く役立っていない

役立っている	114人
まあ役立っている	471人
あまり役立っていない	265人
全く役立っていない	31人

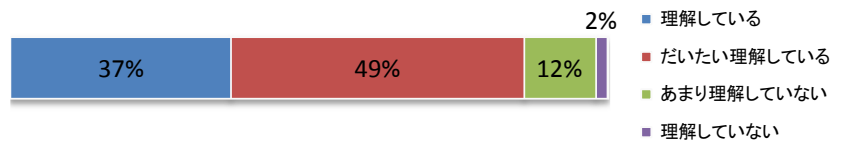


(14) カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください。【自由記述:300字以内】

(15) 卒論着手条件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	331人
だいたい理解している	434人
あまり理解していない	108人
理解していない	15人



(16) 履修単位数に制限があることを知っている。

・知っている ・知らない

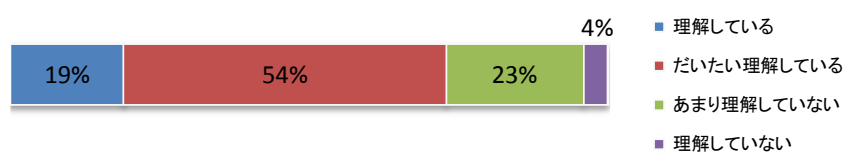
知っている	535人
知らない	356人



(17) 学科の学習・教育目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

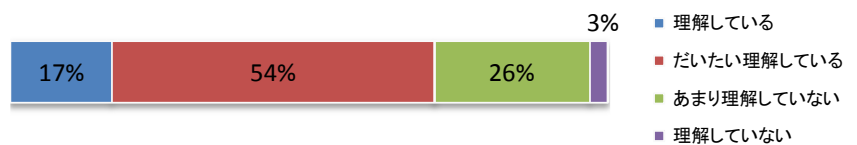
理解している	166人
だいたい理解している	483人
あまり理解していない	206人
理解していない	34人



(18) 学科のカリキュラムと学習・教育目標との対応を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

理解している	147人
だいたい理解している	477人
あまり理解していない	233人
理解していない	29人



(19) 上記16と17について確認したことがある。

・ある ・ない

ある	349人
ない	538人



(20) 学科の学習・教育目標と照らして、授業の内容は適切であった。

・適切であった ・適切でなかった

適切であった	814人
適切でなかった	68人



(21) 20で適切でなかった理由。【自由記述:300字以内】

(22) 成績の評価方法は適切であった。

・適切であった ・適切でなかった

適切であった	793人
適切でなかった	67人



(23) 22で適切でなかった理由。【自由記述:300字以内】

アンケート実施期間: 2012/09/19(水) 00:00~2012/10/31(水) 23:59

回答者には以下のイメージで表示されます。

2012カリキュラム評価アンケート(工学部用)

この調査は、みなさんが授業等を受講するにあたって理解していること、考えていること等について調査することを目的としています。あなたが理解、考えている程度に応じてチェックして下さい。

(全ての項目にチェックした後、画面右下の「回答」ボタンをクリックしてください。)

アンケート実施主体: 福井大学高等教育推進センター

1. 学部の理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

2. 学科(課程)の教育理念や目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

3. 4年間を通じ各学年でどのような科目を履修しなければならないか理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

4. シラバスの使い方を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

5. シラバスを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

6. 卒業要件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

7. 必修科目, 選択必修科目, 選択科目の区分を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

8. 履修登録の方法を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

9. 授業を欠席する際や再試・追試を願い出る際の手続きを理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

10. オフィスアワーの存在を知っている。

・知っている ・知らない

11. オフィスアワーを活用している。

・活用している ・ときどき活用している ・あまり活用していない ・全く活用していない

12. 卒業後の具体的な将来展望・目的意識を持っている。

・持っている ・だいたい持っている ・あまり持っていない ・全く持っていない

13. 学科(課程)のカリキュラムが自身の将来設計に役立っている。

・役立っている ・まあ役立っている ・あまり役立っていない ・全く役立っていない

14. カリキュラム全般に関する意見・要望を自由に書いてください。【自由記述:300字以内】

15. 卒業着手条件を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

16. 履修単位数に制限があることを知っている。

・知っている ・知らない

17. 学科の学習・教育目標を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

18. 学科のカリキュラムと学習・教育目標との対応を理解している。

・理解している ・だいたい理解している ・あまり理解していない ・理解していない

19. 上記16と17について確認したことがある。

・ある ・ない

20. 学科の学習・教育目標と照らして、授業の内容は適切であった。

・適切であった ・適切でなかった

21. 20で適切でなかった理由【自由記述:300字以内】

22. 成績の評価方法は適切であった。

・適切であった ・適切でなかった

23. 22で適切でなかった理由。【自由記述:300字以内】

ご回答有り難うございました。このアンケートを通して、大学のカリキュラムに目を向ける機会となり、深い理解を持って勉学に取り組んでもらえることを期待しています。

今、「単位の実質化」ということが大学に強く求められています。例えば、「単位が取れた」という時の「単位」とは、大学設置基準では「45時間」とされています。普通皆さんが受ける授業の多くは「2単位」ですから「90時間」となります。

これが、一つの授業で単位を得るために必要な時間なのです。実際に大学で行う授業は「90分×15回＝30時間」ですから、残りの「60時間」は、皆さん自身の予習・復習で補わなければならないのです。

今、大学ではみなさんが確実に効果的に予習や復習を進められるようにサポートし、より確かな成果を得られるようにカリキュラムの改善が進められています。

福井大学高等教育推進センター

事務担当:学務部教務課

小林 誠巳(0776-27-8400)内線2102

e-mail gkyomu-am@ad.u-fukui.ac.jp

回答